

ウッディチキン／関西例会

『例会レポート 147』

日 程	2020年2月12日(水)
会 場	ダリア関西 大阪市北区曽根崎 2-12-7 清和梅田ビル 7F 06-6948-8858
参加者数	約 78 名(内県外 13 名)
講演会内容	受付 18:30～ 講演時間 19:00～21:00 講演テーマ 「社員が日本一しあわせを感じる会社を目指して」 講師 株式会社ビューティサロンモリワキ 代表取締役会長 森脇 嘉三氏
親睦会	21:30～ お初天神 ひばちや



ウッディキッチン事務局

文章・写真提供／向井 健介

<http://woodychicken.com> info@woodychicken.com

令和2年第一弾例会が関西で行われました。

新型コロナウイルスの影響で、県外の参加者が少なかったですが合計で80名の方に集まって頂きました！

今回は、日本で一番大切にしたい会社大賞の審査委特別賞を受賞した森脇さんのセミナーでした。とても分かりやすく、社員の事を大切に経営されているのだと感じました。

司会は、モザイクの木村さんでした。安定した進めぐあいで会全体がまとまりました。



今回は、関西からおもてなしの意味を込めて皆様にお菓子の詰合せをお渡しさせていただきました。

一つ一つのお菓子の意味を、クンクルーホーのミヤティ-こと宮前さんから説明していただきました。

①ブラックサンダー ⇒ ユーラク製菓の河合会長から教えてもらった。子供たちがお手伝いをしてくれた時にお駄賃で30円をあげても喜ばないが、ブラックサンダーを渡すと、「やったー！」と喜んでもらえる。だから30円以上の価値があるお菓子を目指しています。と伺いました。私たちのサロンも、価格以上の価値を届けるようにという思いでこのお菓子を選びました。

②ハッピーターン ⇒ ウッディの教えの「なげたものは返ってくる」ということと同じで、このお菓子をお裾分けした時に、相手が喜んでくれたことが、自分もうれしい気持ちが返ってくる。という思いでネーミングと味を考えたそうです。

③パインアメ ⇒ なぜ飴の中心に、穴が開いているのか・・・ 子どもやお年寄りの方が安心して食べられるように考えた結果です。創業当時はその型がなく、手作業で作業していたためよく欠けていた・・・ 社員からロスが出るからやめましようという声が多かったが、創業者がお菓子は安心して食べないといけないという思いを貫いた結果の証です。

関西ウッディの活動報告

2019年の活動をモザイクの佐藤さんから報告していただきました。

関西ウッディでは、奇数月に集まっています。

2019年のテーマは、原点に返って

ボランティアと読書にフォーカスしました。



・3月 ボランティア活動報告会

NPO 法人 CONCENT 代表井上昭光氏と交流

関西を中心に活動している NPO 法人 CONCENT の井上昭光氏を招いて CONCENT の活動を共有していただいた。

ボランティアカット・・・児童院、児童養護施設 関西 4ヶ所

災害地美容支援(現地の美容室に道具を提供したり)

・5月 技術講習会

SALON47184 佐藤考弘氏によるセニングカットセミナー



・7月 ビブリオバトル

参加者がそれぞれおすすめ本のプレゼンテーションをする。5分間

最終的にみんなで投票をして一番票が集まった方に図書券をプレゼントしました。



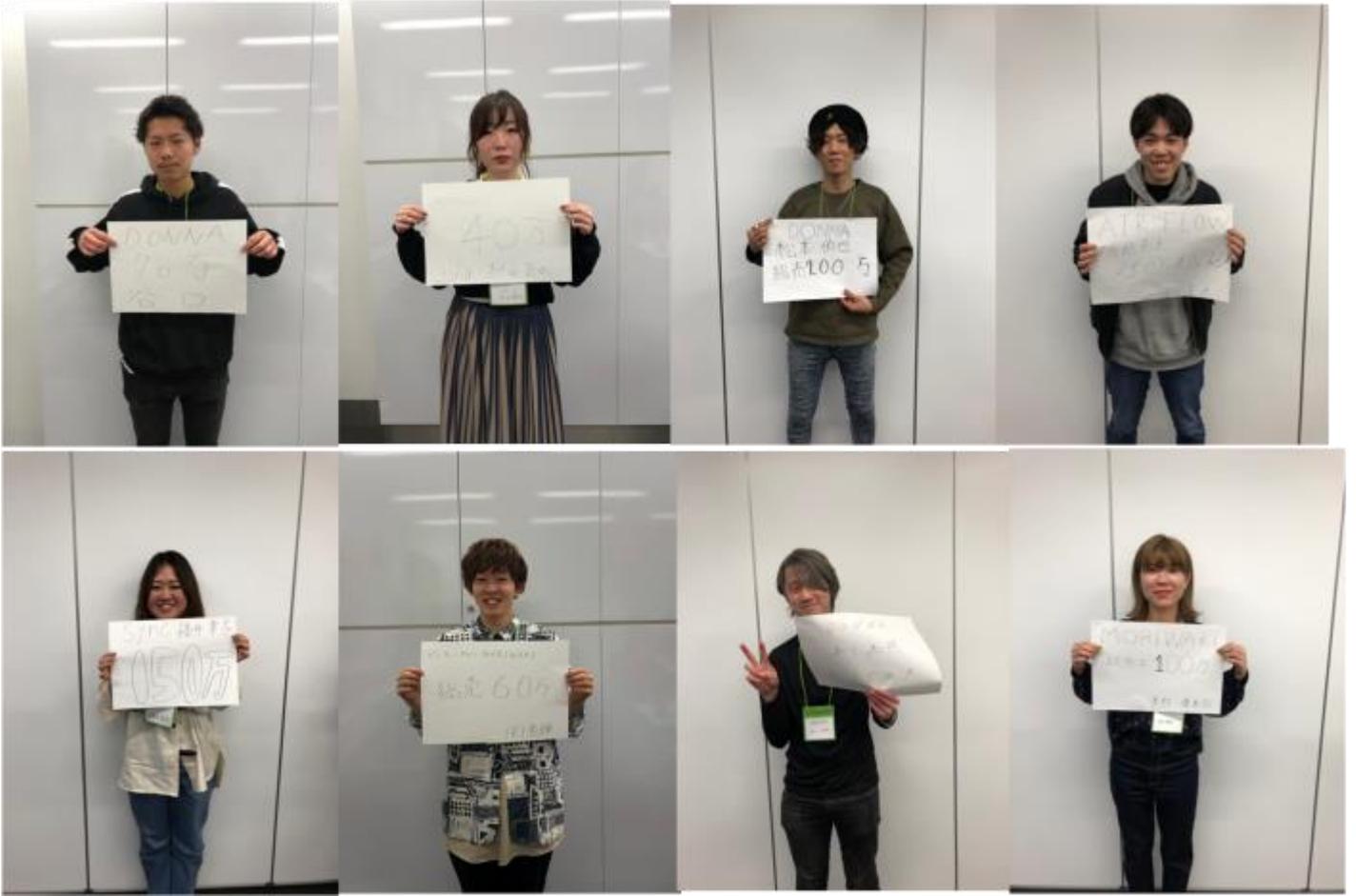
S-win(シャンプーコンテスト) 会場は、美容専門学校にお借りいただいています。



・4月と8月に伸び盛りプロジェクト開催

7月と12月の最高記録の目標を決めて、ハイパフォーマーの方の行動をみんなで共有して、行動計画を立てていく。





ウッディ代表 伊藤さんから活動報告

全国の各支部での活動が活発になっています！
 どんどん各地区から参加してもいいですよ。
 各支部で連絡を取り合って参加していけば
 もっといい輪が広がると思います。

フィリピンについて

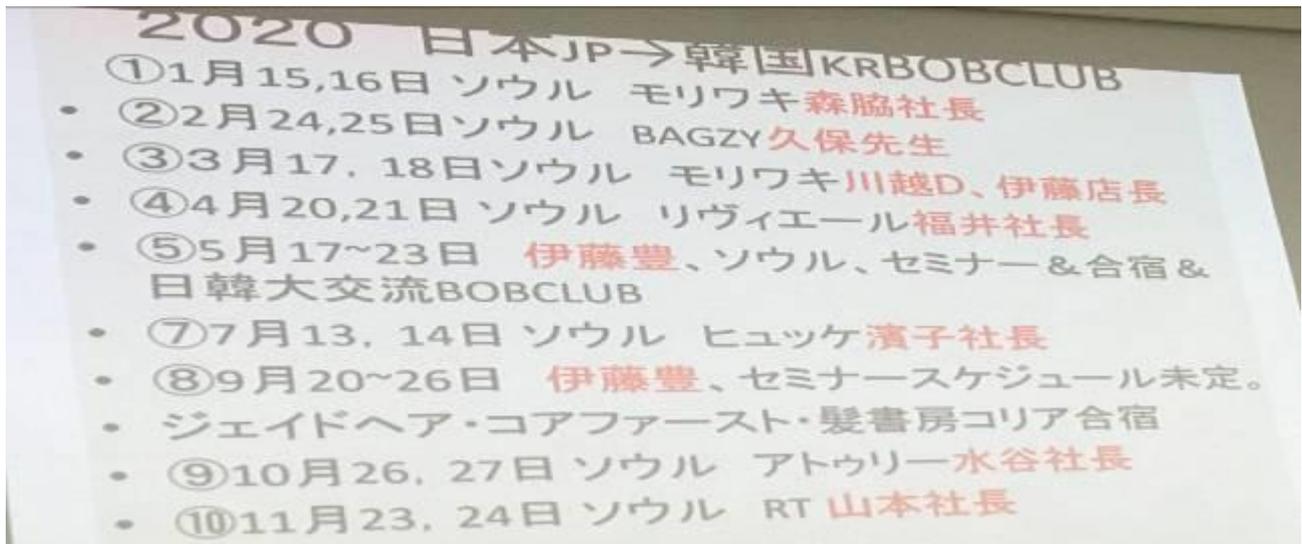
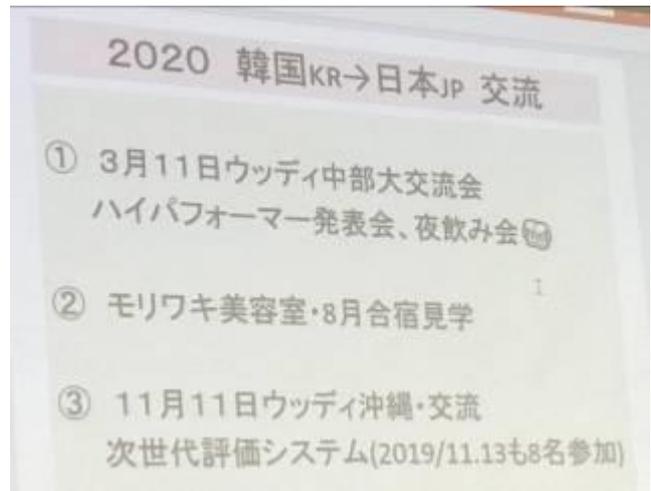
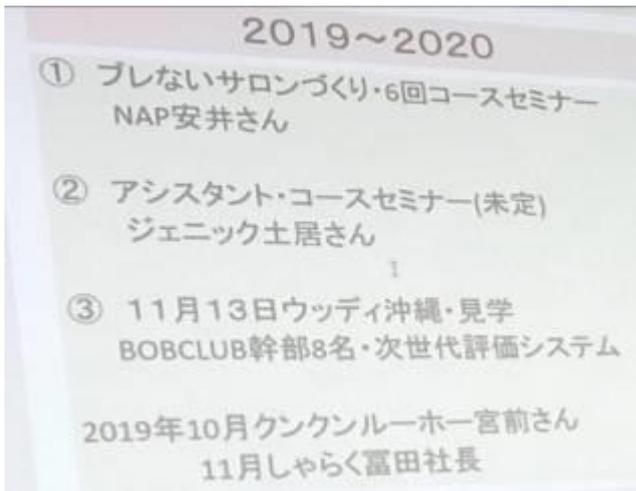
昨年は2人の命を救った。
 これまでに7人の方を救ったことになる。
 今年は2月13日～16日 セブ島
 ドンナの代表の佐々木さんのアテンドで視察&観光
 4月22日～25日 小ボランティア活動
 2021年2月ごろ 日本30名+韓国15名の大ボランティアを予定しています。



ベトナムについて

今後活動していく。今年は、11月3日～7日
 内容は、ハノイの障害者施設でのカット・専門学校の先生がカットを教えてほしいということでやる。専門学校との
 交流(将来的に雇用につながる)

韓国について



講演「社員が日本一しあわせを感じる会社を目指して」

株式会社ビューティサロンモリワキ

会長 森脇嘉三氏

1、自己紹介

- ・ 昭和28年12月21日生まれ 66才
- ・ 大阪市西区出身
(正子、専務、文子、同じ中学校)
- ・ 立命館大学 理工学部 土木工学科卒業
10年間 土木設計、現場監督(橋、道路)
- ・ 結婚して、38年になります。(5月17日)
- ・ 1981年に結婚して5年後に、森脇の姓になり、ビューティサロンモリワキに入る。
- ・ モリワキに入社して、5年後(1990年)に社長に就任
- ・ 2020年2月に、代表取締役会長に就任



森脇 茂(義父) から原理原則を学ぶ、そして惚れ込む。

1995年没(平成7年)

- ・ 家族を幸せにできない者は、スタッフを幸せにできない。
スタッフを幸せにできない者が、社会に貢献するなんてとんでもない。
- ・ 原因は外部ではなく、その物の中にある。
(企業が滅びる原因は、内部にある)
- ・ 事実で物事を判断する。(クレーム等)
- ・ トップは、贅沢をしてはいけない。
(ビールを飲むな)
(男性は、寮を出るな。車を持つな。)
- ・ 目の前の小さくても気のついた事を、すぐに改める。



2、会社概要

昭和27年4月創業

(創業67年)

創業は、先代 森脇茂・森脇登美子が、大阪市西区九条で、わずか6坪の店でスタートする。

店舗数

美容室 7店舗

(交野市、枚方市、寝屋川市)

ブライダルサロン 1店舗

2013年4月に新交野本店オープン

MORIWAKI Ai LAND

交野本店スタッフ

2F、研修センター(約50坪)

社員寮(寮費15,000円)

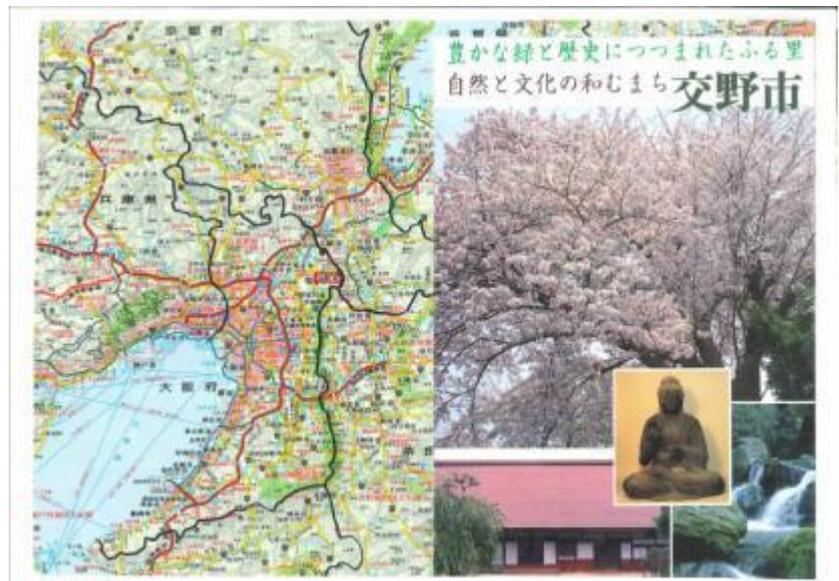
スタイリストになるまで、安心して生活できます

スタッフ数 約100名

(約5割が九州、四国出身)

入社式

毎月1回、学校と自宅へレポートを送る



交野本店の3階が社員食堂(一番環境がいい場所)



モリワキを一言でいうと

「古くて新しい大家族主義経営」

3、韓国の皆さんとモリワキの交流

モリワキ合宿見学

合宿の見学は、今まで受け入れた事はなかったです。
この時が初めてです。

(これで、韓国の方と関係が深くなりました)



<1年目>

2017年

8月21日~22日

<2年目>

2018年

8月20日~21日

<3年目>

2019年

8月19日~20日

合宿が終わり、記念撮影



モリワキ credo (理念) をプレゼント (韓国バージョン)



1日目の夕食は、3年目ですので年々親しくなり、
今年はモリワキ食堂です (バイキング形式です)



4、「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞
審査委員会特別賞 受賞

主な受賞理由

- ① 社員を大切にしている
- ② 社員の定着がいい。
- ③ 社員食堂、社員寮など福利厚生施設が整っている。
- ④ ボランティアなど、地元だけでなく、滋賀県や、遠くはフィリピンまで地域貢献、社会貢献に熱心である。
- ⑤ 障害者雇用にも、積極的である。



サプライズの店長・マネージャーたちから祝賀会
(受賞を辞退しようと思った時、励ましてもらいました)



5、ビューティサロン
モリワキの転機

2003年(平成15年)～2007年(平成19年)

(1) 拡大経営路線

(1997年(平成9年)～2003年(平成15年))

1990年(平成2年)に社長に就任

1995年(平成7年)に先代 森脇茂が急死

1年は自重していたが、1997年(平成9年)ごろから、出店、各店を順次、全面改装するなどして、拡大経営路線で、順調に経営しているように思えた。2003年(平成15年)には、過去最高の売上を出し、利益も出し、ある店長は1年間のボーナスで車を購入した。ただし、すごく忙しく、月末になるとスタッフが帰ってくるのが、11時～12時になった。私は売上を上げ、利益を出す事が、スタッフが喜び、幸せになると勘違いしていた。その頂点から、1年ぐらいの間、大きなトラブルが続いた。

(2) モリワキの転機になるきっかけの出来事

(2003年～2004年)

1、大きなクレーム

(3件(まゆ毛、頭皮)、補償金100万円)

2、 寮での大きな事故(スタッフの件)

3、 4年目のスタッフ(13期生)が、
13名が9名退社する。(約8ヶ月で)

その時に、助けて頂いたのが、

北川先生、
ラポットの伊藤さん、
バグジーの久保先生など、
絶妙なタイミングでご縁を頂いた。

(3) 考え方が変わる(繁栄の法則)

1、 拡大させることよりも、内部充実。

まんじゅう屋さんの話し(あんこの量を多くする経営)

2、 戸が笑う店づくり(楽しい職場。日々、感動と喜びのある職場)

お金は、必要だが目的にしてはいけない。売上げというのは、世の中の景気、不景気で上がったり、下がったりするのは当たり前で長期的な視野で見えていかなければならない。売上げが上がった下ったで、一喜一憂するのではなく、

「お客様が本当に喜んで頂いているかどうか」

「スタッフが健康で、のびのび楽しく働いているかどうか」

という事を点検することが一番です。お金を目的にしてはいけない。車でいうと、お金はガソリンです。お金は必要だが追求するものでない。当時、売上げが伸び悩み、迷いがあった時でしたので、私にとっては、雷が落ちたような衝撃でした。この話しを聞いて、迷いがなくなり、私が進むべき道が見えました。

3、 損する事を恐れなくて、“ありがとう”と言われる道を選ぶ。

「物事の判断する基準は、損得ではなく、人の喜ぶ事を提案する」

「迷った時は、損を恐れなくて、信用を選ぶ」

(4) 会社が目指す方向性が決まる

・ 楽しい職場、
感動と喜びのある職場

・ 戸が笑う店づくり
(店の外から見て、明るいオーラを放っていて、つい、足を踏み入れたくなる店)

(5) 社長の行動が変わる

・ スタッフに対して、「ありがとう」の言葉が増える。

- ・ 顔を見ただけで、スタッフの調子がいいか、悪いか
が、以前より、気づくようになる。
- ・ 退職する時に、かける言葉が変わる。
- ・ 誕生日の時に、マネージャーや店長には、手紙と
お花、スタッフには、メールか、言葉をかける。
- ・ スタッフと語る。
(リーダー研修、社長塾、店長カウンセリング)
- ・ 天の声(スタッフの声)を無記名で書いてもらう。
(スタッフが辞めた場合、半分はこちらに指を向ける)

幹部合宿(2日間:天の声について話し合う)



一項目ずつ検証する(出来る・出来ない・時間がかかる)



(6)会社の風土が変わる (モリワキで具体的に変わっていった事)

- ① 寮の環境が変わる
社員寮 (寮費15,000円)
スタイリストになるまで、安心して生活できます
社員食堂

男子寮(1F:アカデミー、2F・3F:男子寮)



社員食堂



スタッフ一人一人のおかずの名前が



② スタッフ全員が社会保険加入(2006年)

銀行の大きな返済が終わった後、出店するのではなく、スタッフ全員を社会保険に加入した。

(当時、美容業界では、本人で国民年金に加入するのが、ほとんどだった)

年間で、2500万円～3000万円の負担

働き方改革(スタッフの労働環境をよくする)

週休2日(2013年)

営業時間1時間短縮(2019年)

スタッフ間で、日々感動と喜びがあり、結びつきが強くなる。

- ・ スタッフの誕生日には、スタッフ同士で、お店で、寮でお祝いをする。
- ・ 新入社員が辞めると聞くと、同期や先輩たちが寮に行って、話を聞いてくれる。
- ・ ヘアショーの後に社長の結婚25周年のサプライズ。
(8ヶ月で、13名→9名になったクラス)その数年後、全員が店長になる。

理念完成(2006年)完成まで1年かかる

やさしい会社をつくりましょう

～ 一人一人をたいせつに ～

「やさしい会社」とは、お客様や会社をとりまくすべての人々が、「社員のみなさん、やさしいですね」と言って下さるような会社のことです。

やさしさとは、言い換えると、「利他の心(人のために)」「感謝の心」ということです。やさしい会社は、人々を幸せにし、やさしい社会をつくれます。

塚越会長を初めて訪問

2007年(平成19年)1月

幹部研修旅行(伊那食品工業へ)

- 1、スタッフ教育の基本 → これが「やさしさ」の原点
- 2、スタッフ教育の目的 → 自立
- 3、ビューティサロンモリワキの約束

スタッフ教育の基本

教えられて 教えて 助けられて 助けて

私たちは、いろんな人に教えられて、助けられている事をわすれてはいけません。教えられ、助けられた事に感謝し、次は、自分が人(後輩)に教えてあげる、助けてあげる。その時に、人(先輩)の有難さ、やさしさがわかる。それを理解できた時、真の意味で、自分(会社)をとりまく人を助けてあげる、教えてあげることができる。

スタッフ教育の目的

- 1、 日本全国、どこへ行っても、その日から生活できる生活力をつける。
- 2、 どの様な場所に出ても、どの様な人に会っても、正しい社交の出来る社会性を持つ。
- 3、 将来どんな困難な時にあっても、それを乗り越える強い精神力を身につける。

モリワキに入社した目的は、「自立」です

ビューティサロンモリワキの約束

- 1、私たちは、すべてのお客様に感動とよろこびをプレゼントします。
- 2、私たちは、売上げや利益のみを追うのではなく、長期的な視野にたち、「利より信」の精神で、着実な成長を願い、会社が永続していく事につとめます。(年輪経営)
- 3、私たちは、単に、美容技術者になるのではなく、社会人として立派な、やさしく心遣いのできる美容師をめざし、養成します。そして、社員が生活力をつけ、自立し幸せになるために、ビューティサロンモリワキはあります。

モリワキフィロソフィー完成 (2016年)

私の経営の基本的な考え方をまとめました。

1、理念について

「やさしい会社をつくりましょう。 ～ 一人一人をたいせつに ～」

「やさしい会社」とは、お客様や会社をとりまくすべての人々が、「社員のみなさん、やさしいですね」と言ってくれるような会社のことです。

やさしさとは、言い換えると「利他の心(人のために)」「感謝の心」ということです。「やさしさ」とは、もっと言い換えると、相手の気持ちになって、相手の立場になって、感じる感性をもっていることです。

世間では、モリワキは大家族主義経営と言われてます。私たち経営者が親であり、先輩スタッフは兄であり、姉であります。時にはやさしく、時には厳しく、その人の成長を願って行動します。これが本当の“やさしさ”ではないでしょうか。しかし、今、世間は自分のことだけよければいいとか、人がやっていることに無関心な世の中になってます。このような世の中に、モリワキスタッフの行動が、お客様に、地域に、広がっていくことによって、無関心な社会をやさしい社会に変えていきたいと思ってます。

また、モリワキは社会に「やさしい宣言」をし、髪にやさしい、お客様にやさしい、地域にやさしい、環境にやさしい、など社会に発信して、やさしい社会をつくります。

あいさつ運動での感動話し

2、会社の目的と社会への約束

- ① モリワキは、単に美容の技術だけを学んだ美容師を育成するのではなく、心の教育を行い、一人前の社会人として立派な、やさしく心遣いのできる美容師を養成します。そして、社員が生活力をつけ、自立し、幸せになるために、モリワキはあります。
- ② モリワキは、売上や利益のみを追うのではなく、長期的な視野にたち、「利より信」の精神で、着実な成長を願い、会社が永続することに努めます。

二宮尊徳の言葉、「道徳なき経済は罪悪であり、経済なき道徳はただの寝言である」を私は心に刻んでます。モリワキは、「心の経営」を目指してます。

しかし、利益が出て、はじめて世間から認められます。伊那食品工業の塚越会長の言葉を引用すると、「利益とは、健康な体から出るウンチである。“健康な会社”であれば、利益というウンチは自然と出てくる。“健康な会社”とは、一言で言うと“バランスのいい会社”です。バランスがいいというのは、経済と道徳のバランスです。

③ 私たちは、すべてのお客様に感動とよろこびをプレゼントします。

お店で、お客様に日々感動とよろこびのある店というのは、まずは、スタッフ同士仲がよく、お店の雰囲気^{（雰囲気）}が和気あいあいとして、誕生日にはサプライズでお祝いをしたりして、笑いが絶えない店です。

その延長にお客様の感動とよろこびがあります。

3、モリワキの成長

会社の成長というのは、社員が以前より「幸せになった」「成長した」と感じられることだと思います。私は、売上げが増えた、店の数が増えた、スタッフ数が増えたことだけで、会社の成長だとしてはいけないと思います。

会社は会社自体や経営者のために利益をあげ、発展するのではなく、会社を構成する人々、社長もふくめて“社員全員の幸せ”のために存在します。

モリワキは、「スタッフが日本一しあわせを感じる会社」を目標にしています。

4、モリワキのめざすサロンづくり

モリワキがめざすサロンは、「やさしさと笑顔があふれるサロン」です。そういうサロンで働くスタッフは、お互い仲がよくお店の雰囲気^{（雰囲気）}が和気あいあいとして、お客様は気持ちよくて、ついつい長居してしまようなサロンです。店内は、にぎやかで笑いが絶えなくて、その笑いにつられて、思わずお客様が入りたくなります。そういうサロンは、“やさしさと笑顔”があふれ、日々感動とよろこびのあるサロンです。

お店を経営するにあたって、お金は必要ですが目的にはいけないと思ってます。売上げというのは、世の中の景気、不景気で上がったり、下がったりします。それよりも、長期的な視野で見なければなりません。売上が上がった、下がったで一喜一憂するのではなく、

「お客様が本当によろこんで頂いているかどうか」「スタッフが健康でのびのび楽しく働いているかどうか」ということを確認することが一番です。

おわりに

今回は、このような機会を頂きまして、ありがとうございました。また、去年は、「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 審査委員会特別賞という素晴らしい賞を頂き、たいへん嬉しく思っております。

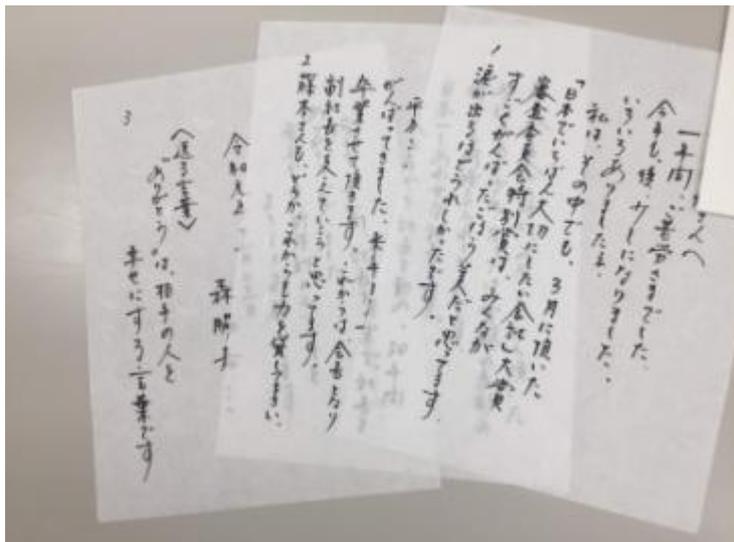
モリワキが取り組んでいる事が、少しでも社会に認められて、スタッフ全員、大変嬉しく思っています。

モリワキの理念は、「やさしい会社をつくりましょう」～一人一人を大切に～です。モリワキスタッフの行動が、お客様に、地域に広がって

いくことにより、無関心な社会をやさしい社会に変えていきたいと思っています。そして、モリワキは「スタッフ

が日本一「しあわせを感じる会社」を目標にしています。スタッフが以前より「幸せになった」「成長した」と感じられるように、これからもなお一層努力していきます。今回は誠に、ありがとうございました。

昨年の12月は、100名のスタッフ全員へ手紙を書く



以上です。

懇親会



ウッディ事務局 向井健介